

学術変革領域研究（A）

生涯学の創出

超高齢社会における発達・加齢観の刷新

令和4年度（2022年度）

若手研究者国際発表補助事業・国際交流事業

公募要領

概要と注意点

科学研究費助成事業学術変革領域研究（A）「生涯学の創出—超高齢社会における発達・加齢観の刷新」の若手研究者国際発表補助事業・国際交流事業の一環として、国際学会への参加、英文校正、論文投稿などに要する費用を補助します。さらに、プロの講師によるプレゼンテーション・ワークショップや論文の書き方講座なども実施します。応募の開始告知がありましたら、以下の注意事項を読み、奮ってご応募ください。

応募資格について

本事業への応募資格者は、基本的に以下のいずれかに該当する方々です。応募資格の有無が確認できる書類を提出していただく場合があります。詳しくは次ページ以降の説明をご覧ください。

- ・大学院生
- ・ポスドク研究者（40歳未満）
- ・博士取得後10年以内の研究者（研究班の代表者等の場合は優先順位が下がります）

応募先や審査について

各種費用の補助事業は2023年1月31日を締め切りとして随時受け付けています。既に費用が発生している場合でも、まだ発表や論文がアクセプトされるかわからないという場合でも、どちらでもご応募いただけます（アクセプト済みの申請が優先的に処理されます）。ただし、補助が実施されるのはアクセプト後です。研究テーマは本領域で推進している「生涯学」のコンセプトに広義に関わるものであれば、特に分野を問いません。それぞれの助成につきオンラインの申請書がありますので、そちらに記入し、必要書類を添付してお送りください。必要書類は次ページ以降でご確認ください。審査は「生涯学」の計画班メンバーを中心に含む総括班が行います。

申請オンラインフォームアドレス

<https://forms.gle/fZz3Y3DhWArgtaUD6>

採択後の手続きについて

本事業では、既に研究者が費用を支払い終わっているものの補助はできません。また、採択された際には、支払い手続きやファンドの公表をルールに従って行っていただく必要があります。応募の前に、本要領の末尾にある「採択後の手続き」を必ずご一読ください。採択後の支払い手続きには一定期間を要します。申請時に、支払期限まで十分な余裕があるかどうかを必ずご確認ください。

班代表者への確認について

本事業へは対象者の方が直接応募していただきますが、二重請求を防ぐため、応募に関して研究班リーダーに事務局から確認をさせていただきます。詳しくは6ページをご覧ください。

1. 国際学会参加補助

概要	若手研究者が当該年度に開催される国際学術会議において、研究成果の発表ないしはワークショップへの参加をする場合にかかる参加費及び旅費と宿泊費を補助します。旅費は基本的に所属先住所から目的地までの往復費用です。応募前に必ず p6 の「国際学会参加補助に関する注意点」をお読みください。
金額	参加費、旅費の実費および京大規定に基づく宿泊費を補助。
受付期間	年度の区切りなく随時。学会が年度末に近い時期（2月など）の場合は事務局に要相談。
ご準備いただく情報と書類	<p>「若手補助事業・学会参加補助」オンライン申請書にて応募申請書にご記入いただく主な情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 申請者の氏名、所属など 2. 学会名、開催場所、学会 URL 3. 発表抄録、またはワークショップの概要 4. 目的地までの希望経路と使用する交通手段 5. 現地での宿泊日数 6. 所属先住所と最寄り駅 7. 自宅住所と最寄り駅 8. 振込先口座 <p>申請書に添付いただく書類</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 抄録のアクセプトメールなど、学会参加を証明するもの（申請時にアクセプトされていない場合は不要） 2. 参加費の金額、参加費の払い込み方法、納付期限を記載した文書（請求書の写しなども可） <p>申請時に発表がアクセプトされていない場合は、決定の目安時期を2の書類に記入してください。</p>

2. 投稿論文の英文校正費補助

概要	若手研究者が筆頭 (equal contribution も含む) または責任著者として成果をまとめた論文を、国際学術雑誌に投稿する際の英文校正費を補助します。広義に「生涯学」に関わる研究論文が対象です。
金額	一件当たり 5 万円程度を目安として実費を補助
受付期間	2023 年 1 月 31 日 (月) を締切として随時。
ご準備いただく情報と書類	<p>「若手補助事業・英文校正費」オンライン申請書にて応募</p> <p><u>申請書にご記入いただく主な情報</u></p> <p>1. 申請者の氏名、所属など</p> <p><u>申請書に添付いただく書類</u></p> <p>1. 校正されたことがわかる論文原稿 (校正会社に依頼する前に申請する場合は校正予定の原稿)、謝辞について p7 を確認すること。</p> <p>2. 見積書、請求書、納品書 (納品メールの PDF 可)。これらが申請時に手元にならない場合は 3 を添付すること。</p> <p>3. 校正会社名、請求金額、費用の払い込み方法、納付期限を記載した文書</p> <p>校正会社に依頼する前に申請する場合はできるだけ正確な費用の概算を記入してください (見積書の添付を勧めます)。</p>

3. 国際学術誌への論文掲載費補助

概要	若手研究者が筆頭 (equal contribution も含む) または責任著者として査読付き国際学術雑誌に掲載するための費用を補助します。当該年度にアクセプトされて費用の支払いが必要なもので、広義に「生涯学」に関わる研究論文が対象です。
金額	30 万円程度を目安として実費を補助。オープンアクセス費用等要相談。
受付期間	2023 年 1 月 31 日 (月) を締切として随時。
ご準備いただく情報と書類	<p>「若手補助事業・論文掲載費」オンライン申請書にて応募</p> <p><u>申請書にご記入いただく主な情報</u></p> <p>1. 申請者の氏名、所属など</p> <p><u>申請書に添付いただく書類</u></p> <p>1. 論文原稿 (謝辞について p7 を確認すること)</p> <p>2. 見積書、請求書、納品書 (ない場合は 3 を添付)</p> <p>3. 雑誌名、費用、費用の払い込み方法、納付期限を記載した文書</p> <p>4. 公開日や掲載日が書かれた論文のページの PDF (申請時に決定している場合)</p> <p>申請時にアクセプトされていない場合は、決定の目安時期を申請書に記入すること。</p>

4. 英語プレゼンテーション・ワークショップ

概要	国際学会で発表する能力を向上する機会を提供するため、英語ネイティブの教師と少人数で行うオンラインの英語プレゼンテーション・ワークショップを実施します。
開催日	2022年9月17日(土) 16:00-17:30 2023年2月ごろ(日程未定) どちらもZoomによるオンライン開催
採択数	各回に3名
受付締切	随時連絡します。
応募方法	「若手補助事業・プレゼンワークショップ」オンライン申請書にて
採択から実施まで	採択結果はメールでご連絡します。採択された方には当日までに5分ほどのプレゼンテーションをご準備いただきます。準備内容や当日の段取りについては事務局から連絡があります。

5. 英語論文の書き方セミナー

概要	英語論文の書き方の基礎をプロの講師が解説するセミナーをオンラインで開催します。生涯学に関係する研究者の方は誰でも参加可能です。開催日やトピックは決定次第公表します。
開催日	2022年11月26日(土) 13:00-14:00 2022年12月14日(水) 16:00-17:00
参加方法	実施の数週間前にセミナーへの登録フォームに関する情報を発信します。ご登録いただいた方には開催日近日にセミナーへのアクセス情報が届きます。

6. 若手研究者の会、旅費補助

概要	若手どうし、または若手と先輩研究者の交流を深めるため、研究発表と懇談会を含む会を開催します。若手以外の参加も歓迎します。参加人数把握のため参加希望の方は申請書にご記入ください。加えてP2にある若手に該当する方で、15分ほどの研究発表をしてくださる方に限り、旅費(実費)と宿泊費(京大規定に基づく指定額)を補助します。
開催日	2023年11月12日(土)、13日(日)
開催場所	東洋大学 〒112-8606 東京都文京区白山5丁目28-20
ご準備いただく情報と書類	「若手補助事業・若手研究者の会」オンライン申請書にて応募 申請書にご記入いただく主な情報 1. 申請者の氏名、所属など 以下、旅費補助を希望する方のみ 2. 目的地までの希望経路と使用する交通手段 3. 所属先住所と最寄り駅 4. 自宅住所と最寄り駅 5. 振込先口座

採択後の手続き

採択結果はメールで通知します。経費補助の事業では、支払いは全て京都大学の「生涯学」事務局経由で行われます。申請者自身で立て替え払いなどはせず、請求書などの必要書類を速やかに事務局に送ってください。学会発表や論文がアクセプトされる前に本事業に申請していて、結果が明らかになった場合も、速やかに事務局までお知らせください。

採択後の班代表者への確認

国際学会の旅費、英文校正費、国際誌掲載費は、各班に配分されている研究費でも支払いが可能な項目です。そのため、もし若手が本事業に採択されたにも関わらず班の研究費で同一の事柄の支払い請求がなされると、研究費の不正使用になってしまいます。このような二重請求を避けるため、若手が上記の補助に採択された班の代表者には事務局からメールで連絡し、手続きの確認をさせていただきます。

採択後に必要となる書類

英文校正費補助、国際誌掲載費補助では、共通して以下の書類が必要です。応募時にこれらが手元にある場合は、申請フォームに添付してください。原則として請求書の宛名は学術変革領域研究 (A)「生涯学」の領域代表にしてください (p7 参照)。

1. 請求書（見積書、納品書が発行される場合はそれらも含む）
2. 送金先の詳細を記した文書（請求書に記載がない場合）
3. 謝辞の入った論文原稿（p7 参照）

さらに国際誌掲載費補助では公開日や掲載日が書かれた論文のページ(PDF可)が必要です。

請求書などが紙媒体で発行される場合は下記の「請求書等の郵送先」宛てに、採択通知から3営業日以内に郵送してください。電子文書の請求書等、および論文原稿などで申請時に提出していなかったものも lifelongsciences@gmail.com 宛てに、採択通知から3営業日以内にメールで送ってください。

英文校正会社が納品書を発行せず、校正済みの文書が申請者にメールで送付される際の「納品メール」または「完了メール」をもって納品とする場合には、それらを PDF 変換したものを納品書として扱ってください。

国際学会参加補助に関する注意点

採用された場合、参加費、交通費、宿泊費が応募者の口座に振り込まれるのは学会参加後になります。上記のとおり、本事業の補助を受ける場合は原則的に請求書等の宛名を「生涯学」の領域代表にさせていただく必要がありますが、参加費の請求書に関しては、発表抄録に謝辞が入っている場合は宛名が応募者でも構いません。ただし、学会への応募と本事業への申請のタイミングの関係で学会抄録に謝辞を入れることができない場合は、請求書の宛名を下記「請求書等の宛先」の通りに変更するよう、支払先に依頼してください。

学会参加費に関して、本人名義での支払いが必要な場合には、特例として立替払いも可能です。その場合には、支払いの1週間ほど前に京都大学に事前に立替払いの許可申請を提出してください。ご自身のクレジットカード等での支払いは必ず立替払い許可が出た後にしてください。京大から許可を得る前にご自身で立替払いを済ませてしまった場合には、本事業からの補助はできません。

さらに、バンケット代（食事代）が参加費に含まれている場合には、必ず事務局にお知らせください。バンケット代は補助の対象にはなりません。内訳が明確にわかる学会の Website の写しや請求書などの書類を添付して採択後に lifelongsciences@gmail.com 宛てにメールするか、申請時にわかっている場合はオンライン申請書に添付してください。

請求書等の宛先

京都大学大学院人間・環境学研究科 学術変革領域研究（A）「生涯学」領域代表
月浦崇

Takashi Tsukiura, Project leader of Lifelong Sciences, Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University

請求書等の郵送先

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学大学院人間・環境学研究科 学術変革領域研究（A）「生涯学」事務局 月浦崇

謝辞について

広義に「生涯学」に関連する学会発表、論文発表、その他の発行物には、謝辞においてご自身の関連する計画研究や公募研究に個別に割り当てられている科研費番号を明確に示してください。この番号に加えて、本事業による補助を受けた場合には、本事業の総括班の科研費班番号（JP20H05800）も必ず並記してください。採択後に提出いただく原稿にその記載がないものには、支払いができない場合があります。記載例は以下にありますが、計画班・公募班の代表者には詳細がメールとスラックで通知されています。そちらも併せてご確認ください。

記載例

- ・「生涯学」の計画班・公募班の番号に加え、総括班の番号を並記する場合

This work was supported by MEXT KAKENHI Grant-in-Aid for Transformative Research Areas (A) "Lifelong Sciences" [JP21HXXXXX, JP20H05800]

- ・「生涯学」の計画班・公募班・総括班に加えて、他の科研費番号を並記する場合

This work was supported by MEXT/JSPS KAKENHI Grant Numbers, JP21HXXXXX, JP20H05800, JP18KXXXXX.